

寺島議員の「伊達市の観光行政について」のうち「観光の「推し」について」のご質問からお答えいたします。

本市は、縄文及びアイヌ文化や武家による開拓の歴史、豊かな自然、多様な食資源など、多岐にわたる観光資源を有しており、それら全ての魅力ある観光資源が推しであると考えております。

次に「道の駅だて歴史の杜の将来展望について」であります。本市の観光拠点施設である物産館には、市内外から年間約120万人の方が来館しております。引き続き、道の駅を起点とした市内周遊に繋がるよう、物産館を活用した観光情報の発信に努めて参ります。

次に「だて観光協会への期待感について」であります。観光情報の発信や各種イベントの推進のほか、専従職員の雇用などによる体制強化により、これまで以上に観光PRに関する役割を担っていただくことを期待しております。

次に「合葬墓構想について」であります。検討の進捗状況といたしましては、関係団体との意見交換を継続し、協力体制についての協議を進めるとともに、整備に向けた市民ニーズ調査を行うため、準備を進めております。